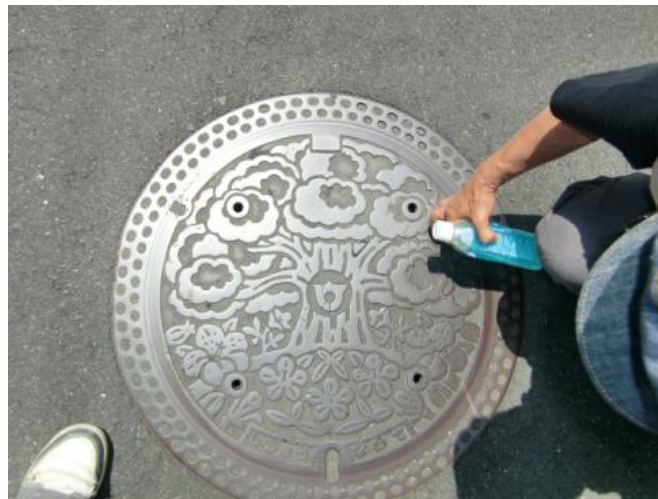




テーマである『桶』



まちで発見した『桶』入りのマンホール

【教育 GP】横見先生フィールドワークゼミナール ～四條畷市、「ゆずりは」、大阪商業大学～ 学 生 レ ポ ー ト (第4号)

四條畷市立公民館『市民連続講座』フィールドワーク実施

6月5日(土)、田野登先生(元四條畷高校教諭・都市民俗学者)のガイドのもと、横見先生が企画に関わっておられる四條畷市立公民館『市民連続講座』フィールドワークに参加させていただきました。四條畷の『桶(くす)』スポットを探してみませんか?をテーマに、参加者の皆さんが『桶』ゆかりのスポットを見つけ、白地図に記入していくという企画でした。

この取り組みの意図は、①じっくりと「まち」を観察することにより、地元住民の方々に地域を「再発見」してもらうこと(気づかなかった点に気づいてもらうこと)、②観光と商業をリンクする試みとして、参加者の皆さんに商店街のお土産を買っていただくこと、の2点です。

参加終了後、ゼミ生が気づいたことは2点ありました。1点目は『桶』の文字は11個とゼミ生の予想より少なかったこと。つまり『桶』を売り出している感じが弱かったように思います。2点目は、四條畷のキャラクターである「くっすん」を見かけることが少なかったことです。今後は、この2点の改善が課題になることを学習しました。最後にお土産(右下図)を頂いて解散です。

【文責：宮田茂信・松田翔太(横見ゼミ3年生)】



オールキャストで集合写真



お土産♪(全て『桶』ゆかりのものです)